



いとうの杜新聞

令和4年5月号

介護老人保健施設 いとうの杜
 短期入所生活介護 いとうの杜
 居宅介護支援事業所 いとうの杜
 通所リハビリテーション いとうの杜
 2022年5月15日 発行 第134号

こいのぼりと バーベキューと おやつレクリエーション



通所バーベキュー1日目

五月晴れの空に優雅に泳ぐ鯉のぼり。
 その下で行うバーベキュー。
 …のはずでしたが、あいにくの空模様。
 屋根のある場所で炭をおこし、スタッフで
 お肉、野菜等を焼き、皆様に提供しました。



通所バーベキュー2日目

天気予報は雨でしたが、一瞬の間の晴れ間。
 鯉のぼりの下でBBQできました。



まだまだ続くコロナ感染症。上手く付き合いながら楽しみましょう！

2階では、ホットケーキミックスでいっぱいケーキを焼きました。
 生クリームを山盛り！甘いものはいくらでも食べられます。



撮影用に盛りました



ホットケーキ作り

4階では、市販の生地に生クリームやフルーツをトッピング。周りにギャラリーが集まり、ねえ～まだなの？



ワッフル作り

着任のご挨拶

4月1日付けで、介護老人保健施設いとうの杜の事務長に着任しました菊池雄也（きくちたかや）と申します。
 こちらの施設に赴任する前は、東京都武蔵野市の吉祥寺南病院にて勤務しておりました。

職員としっかりコミュニケーションを取りながら、一日でも早く、ご利用者様のお役に立てるよう、日々精進してまいりたいと思っております。

何卒、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

介護老人保健施設 いとうの杜 事務長 菊池 雄也



新型コロナウイルス感染症に関する対応について

当施設では引き続きご利用者様の安全確保、感染症対策により、**通常の面会は中止させて頂きます。**
 利用者様の日常をいとうの杜新聞の紙面に於いて掲載しております。是非ご覧ください。

医療法人啓仁会 介護老人保健施設いとうの杜

永年勤続10年表彰



平成23年4月1日～平成24年3月31日までの入職者を対象に全体朝礼において表彰式が行われました。今回は7名の職員が対象となり、施設長より表彰状及び記念品が贈呈されました。



入職してあっという間に過ぎた10年間でした。今後も変わらず、それぞれの部署で与えられた職務を遂行していきたいと思っております。



3階・6階では春らしいおやつバイキング。こちらも甘いものはいくらでもおなかに入っちゃいます。

5月のレクリエーション と行事予定

- 1階 誕生日会 5/3（火）、5/9（月）、5/19（木）
金魚すくい大会 5/13（金）
- 2階 ケーキバイキング 5/11（水）
- 3階 だらやきを焼こう！
- 4階 お昼にBBQ大会 5/30（月）
- 5階 あじさいゼリー作り 5/10（火）
誕生日会 5/18（水）
ボーリング大会 5/23（月）
- 6階 パナナジュースを作って飲もう！ 5/17（火）

5月は恒例の昼食バイキングがフロア別で行われます。食べ放題です。ショートステイや通所リハビリでも開催します。お楽しみに！！

移動美容室「クランチケア」さんがいとうの杜に来ます。
 5月13日（金）
 5月23日（月）

ご希望の方は各フロアスタッフまで！！

皆様と一緒に楽しい紙面づくりをしていきたいと思っております。
 ご意見や投稿など募集お待ちしております！

〒414-0002 伊東市湯川 288番地9 ホームページ
 「いとうの杜新聞」編集部まで <https://www.itou-mori.jp/>
 電話 0557-35-4165 FAX 0557-35-4101



今年は3月末から4月初旬に桜が満開となりました。各地の桜名所の写真をスタッフに募集したところ、満開の桜が集まりました。桜だけでなく、他の花々も大集合。



場所：三嶋大社
コメント：花より団子
縁起餅「福太郎」は
絶品です！



場所：下田駅界限
コメント：昼も綺麗
ですが夜桜も
また綺麗！



松崎の桜並木



伊豆高原桜並木



お隣の伊東公園
の桜もきれい



外でのお花見ができないなら
お花見弁当でお花見気分！！

シャクナゲ



エゾムラサキ



ウスゲショウ



レッドキャンピオン



ある日の会話より ～6階の人々～



とある日、6階から見えるものは何？と質問しました。
「電車が入ったり出たりするのを見るのが楽しみ」
「海を見て船が行き来するのをずっと見ていられるのよ。宇佐美の景色を見ている
ようだよ」
「按針祭の花火」「花火を独り占めしているよう」
「伊東公園の桜の下でカップルが…」
「6階からの景色は最高。特に朝日が上がるのはとても綺麗ね。今年の元旦もしっ
かり拝んだよ」
「中庭のチューリップが咲くところ」
「大室山、山焼きしたね」
「大室山の先が私の家よ。さすがにここからは見えないわね」
「鳥や飛行機が飛んでいるのを見たり、空の雲がとってもきれい。鳥はよく遊びに
くるわよ」
「この部屋の景色はあまり良くないね。あっちの部屋なら良く見えるんじゃない」
「あなたの顔がよく見えるよ」



なにげない質問から際限なく会話がはずみ、笑顔がいっぱいの時間になりました。
見る角度によっても感じる言葉かけひとつ、それぞれに違いがありますね。

6階スタッフ

伊豆散歩 ～伊東市内②～

河津三郎裕泰ってどんな人？

「鎌倉殿の13人」の物語の始まりは安元元年（1175）ですが、河津三郎祐泰が亡くなったのはその翌年。物語的にはほんの一瞬で終わってしまったようです。ただ以前からこの人に興味があったので先月の伊東祐親のゆかりの地巡りと並行して調べてみました。。河津三郎は伊東祐親の嫡男であり、河津の荘（現在の河津町の土地）を相続したためこの名を名乗っていました。彼は相撲の名手であり、源頼朝の前で行われた相撲で相手に勝ち、「河津掛け」という相撲の決まり技を編み出した人でもあります。（写真①）



(写真①)



(写真②)



(写真③)

当時は伊東の土地についていざこざがあったそうで赤沢の狩場に狩りに行った帰り道、伊東祐親に恨みを持った人たちが襲撃しました。祐親に放った矢でしたが運悪く河津三郎に当たり落命。今もその場所に血塚が残っています。（写真②）行ってみましたが、とてもわかりにくく、やっとのことでこの場所を見つけました。かつては熱海

から下田に抜ける街道だったそうです。その後彼の妻は二人の子供を連れ再婚。曾我性を名乗りました。

建久4年（1193）苦節8年の末、兄弟が22才と20才の時、親の仇を討ち本懐を遂げました。このことは後に「日本三大かたき討ち」に数えられています。（写真③）

話は河津三郎の子供の話になってしまいましたが、世はまさに鎌倉幕府が生まれた時代の時代、同時期に起こっていたことです。歴史浪漫を感じます。

伊豆の散歩人

追：鎌倉幕府成立の年は？…いい国作ろう鎌倉幕府（1192年）と覚えていましたが、現在はいい箱作ろう鎌倉幕府（1185年）だそうです。知ってました？